

## 「会社人間」になれ(?)

みなさん、SFCご卒業おめでとう。これから新しい世界に飛び込んで行かれる諸君に対し、私からは二つのアドバイスがあります。その二つは、全く同じ重さを持って、私が諸君に期待することです。

第一のアドバイスは、夢を持ち続けることだ。「一〇年後にはこのような仕事をしていたい」という大きな夢を決して失わないことです。こうした夢がなければ、結局、日々の生活は惰性に流され、後で悔いが残ることになるが、夢があれば長年月のうちには少しずつ、しかし必ずその実現に近づいていきます。

第二のアドバイスは、誤解をおそれずにいえば「会社人間」になってほしいことだ。たいの諸君は、これから企業やその他の組織で仕事をするようになるでしょうが、それらの組織のために、あるいはそこで与えられた仕事に諸君の全精力を注ぎ込むべきであります。

組織の中で働くことは、人間や組織、その組織が所属する分野(業界)、そして広く社会について、実地で学ぶ貴重な経験です。諸君の中には「この仕事は数年間の腰かけのつもりである」という考え方をしている人がいるかも知れないが、そうした姿勢では結局、本人が損をする。徹底的に会社人間になり、その組織や業界のことならば何でもわかる、といえるように努力してほしい。それが結局、自分の成長につながるのである。

夢を持つ、会社人間になる、この二つは一見、矛盾しているように聞こえるかもしれない。確かに、これらは時に衝突することもあります。しかし、これまでの多くの卒業生の例をみても、あるいは私自身の経験からいっても、この二つのうちいずれが欠けても人生を充実させることはできません。腰かけのつもりで仕事をしていたのでは、結局、その後も期待通りになることは、決してありません。諸君の今後の健闘を祈ります。

(SFCテイクオフ・ラリーにおける卒業生へのビデオメッセージ、二 一年三月一八日)